

ヘルプシール配布

障がい者団体「作ってくれてうれしい」



ヘルプシールの話を聞く鈴木市議員

作成。サイズは、周囲に配慮を必要としていることを知らせる「ヘルプマーク」の裏に貼れる縦6・5センチ、横4センチの大きさ。市役所障害福祉課や船橋駅前総合窓口セ

千葉・船橋市

千葉県船橋市は、自身の障がいや周囲に求める配慮を具体的に伝えられる「ヘルプシール」を7月から希望者に配布している。県内では2番目の導入事例。

シールは「聴覚障害があります」「長時間立てません。席をお譲りください」などのほか、自由に記入できるタイプなど全21種類を

ンターなどで受け取れる。

市は先月末時点で400枚以上配布し、担当者は「市内の聴覚障がい者団体から『作ってくれてうれしい』との声が届いている」と話していた。

公明党の鈴木郁夫市議員は昨年3月議会では他自治体の活用事例を紹介し、「安心して暮らせるためにも必要なツールだ」と訴え導入を求めていた。